選択科目

腎臓内科

Ⅰ．一般目標

腎臓病･電解質異常･腎不全などに対応できる腎臓内科専門医としての臨床能力を獲得するために、血液透析療法を中心とした血液浄化療法の実際が理解できる。

Ⅱ．担当する診療科

腎臓内科、人工透析内科

Ⅲ．研修期間

１カ月以上

Ⅳ．指導スタッフ

	氏　名	職名・担当	医師登録年月	指導医講習
責任者・指導医	浅香　敏	血液浄化センター長 （腎臓・透析内科）	1976.5	◎
指導医	内田　幸助	内科医長 (腎臓内科)	2003.5	◎

Ⅴ．基本的な指導方法

１．血液浄化センターにおいて、血液透析治療スタッフ（看護師・臨床工学技士）と協力して診療にあたる。
２．入院治療中の血液透析患者を指導医とともに担当し診療を行う。
３．血液透析患者の各種検査データー（採血、胸部Ｘ線その他）を評価し、必要と思われる検査を指導医とともに施行する。
４．指導医・上級医とともに当直業務を行う。

Ⅵ．基本的週間スケジュール

	8	9　10　11	12	13　14　15	16　17
月		午前の透析		午後の透析	
火		午前の透析		病棟	ＣＣ
水		午前の透析		午後の透析	
木		午前の透析		病棟	内科総回診
金		午前の透析		午後の透析	
土		午前の透析			

Ⅶ. 行動目標（→ｐ12）

Ⅷ. 経験目標（→ｐ13～21）

Ａ．経験すべき診察法・検査・手技（→ｐ25~27、必修科目内科の項参照）

Ｂ．経験すべき症状・病態・疾患

・頻度の高い以下の症状を経験し、鑑別できる（→ｐ27、必修科目内科の項参照）。

・緊急を要する症状・病態を経験し、初期治療に参加できる（→ｐ27、必修科目内科の項参照）。

・経験が求められる疾患・病態

腎不全（急性・慢性）、

原発性糸球体疾患（急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群）、

全身性疾患による腎障害（糖尿病性腎障害）

Ｃ．特定の医療現場の経験（→ｐ27、必修科目内科の項参照）

血液浄化センター